２０２５年度　自然観察会　実施報告

四日市自然保護推進委員会

回数	第 3 回	参加者数	20 組 51 人
テーマ	河口のいきもの～カニ、貝、塩生植物～		
実施日	２０２５年6月２２日	天候	晴れ
場所	鈴鹿川本川河口		
コース	開会時刻（10：00）　解散時刻（12：00） 堤防から河口を移動しながら観察		

指導内容など

・堤防から河原に降りる道の入り口ゲートにスタッフを配置し、観察会参加者以外の車を河原に入らせないよう対応した。
・熱中症対応のため未来館に暑さ指数計を準備していただいた。
・四日市公害と環境未来館の開館 10 周年企画展の紹介、四日市公害のお話。
・川沿いに移動しながら自由にカニ、魚等を捕まえてもらい、捕まえた生き物の種名を紹介した。
・河口の生きものが激減している現状を説明。
・チゴガニのウェービングを観察した。

参加者の声など（抜粋）

・親子でとても楽しめました。また参加したいです。
・自分が子どもの時と比べて生き物の種類が減っていると感じた。
・話面白かったですが、一部小学生がフリーズするような難しいものがありました。
・初めての干潟観察。ものすごく面白かったです。説明が良かったです。
・線を引いて、子どもが前スタイル、ノンストレスでした。写真ファイルも見やすかったです。
・複数回、捕まえた生き物の紹介やお話があり、とても分かりやすく楽しかったです。子どもも時間いっぱい楽しめました。

観察記録（観察・採集・目撃・鳴き声　　などの種類）

甲殻類	アシハラガニ、ヒメアシハラガニ、クロベンケイガニ、カクベンケイガニ、コメツキガニ、ハマガニ、チゴガニ、ヤマトオサガニ、ユビナガスジエビ、ユビナガホンヤドカリ、タカノケフサイソガニ、ヒライソガニ
貝類	ヤマトシジミ、イソシジミ、イシマキガイ
魚	ボラ、ビリンゴ、ヒメハゼ、ヒモハゼ、アベハゼ、アユ
植物	ハママツナ
野鳥	オオヨシキリ、ホオジロ、カワウ、ムクドリ、ハシボソガラス、アオサギ、ダイサギ、ツバメ、ハクセキレイ、カワラヒワ

四日市公害と環境未来館開館 10 周年企画展の紹介

生き物探し

河口の生きものの現状の説明

捕まえた生き物の紹介